

柘植地域 まちづくりだより 第158号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
(柘植地区市民センター内)

伊賀市柘植町一〇六四七番地

〒五一九一四〇二

電話 四五―八八八〇 FAX 四五―八八八三

発行日 二〇一六(平成二十八年)一月一日(金)

新年のご挨拶

協議会代表 阪井 則行

柘植地域の皆様、
あけましておめでと
うございます。



皆様方におかれま
しては、ご家族お揃いで輝かしい新春
をお迎えの事とお慶び申し上げます。

また、日頃はまちづくり協議会の諸
活動にご支援、ご協力を頂きまして深
く感謝申し上げます、引き続き本年もよろ
しくお願い致します。

さて昨年は国内では安全保障関連法
案が賛否両論の中、成立しましたが、
立憲主義の危機感を覚えると共に次世
代のためにも「戦争のない国」を守っ
てほしいものです。

伊賀市に於いても財政の厳しい中、
市庁舎の跡地問題、医療、観光と農林
業の再生をめざしてはいますがなかなか

厳しいものがあります。また住民自治
協議会を取り巻く状況として、自治セ
ンター化、公共施設適正化、地域交付
金の見直し等の余談を許さないもの
なっています。

また柘植地域では少子高齢化が進ん
で、柘植の街並みも寂しくなってきた
おります。そこでまちづくり協議会
は、各部会の行事と催し物は勿論の事、
皆さんの声を聴きながら何とか発展す
る様にと「まちづくりフェスティバル」
「市長と語る会」「議員懇談会」「構成
員の研修会」の企画も好評のうちに終
わりました。とくに女性の皆さんには
積極的な参画と発言をして頂きまし
て厚くお礼申し上げます。

新年度になりましても柘植保育園の
跡地利用問題、まちづくり計画の見直
しでは柘植の将来を決める大事な事柄
ですので皆さんの英知を結集して最善
のものにしたいと思っております。ま

た、柘植まちづくりの
目標である「一人ひと
りが生き生きとふれあ
い支え合い暮らそうみ
んなのまち 柘植」を
目指して各区分とまち
づくり協議会、市行政
が連携して頑張ってい
く所存ですので今後も
皆様の一層の御理解と
ご協力をお願い申しあ
げまして新年の挨拶と
致します。

来年度予定
柘植地域の主な行事
(お知らせ)
 つつじ祭り
 5月8日(日)
 合同防災訓練
 10月2日(日)

一人ひとりが 生き生きと
ふれあい支えあい 暮らそう
みんなのまち 柘植



新年のご挨拶

伊賀市副市長 辻上 浩司

新年明けましておめでとう
ございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。また、

平素は、市政各般にわたりご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。



さて、昨年を振り返ってみますと、

全国各地で人口減少社会に対応するため地方創生に向けた計画づくりや事業展開が活発に行われるようになりました。

伊賀市でも10月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、第3子の保育料無料化や中学生までの医療費無料化を9月から実施するなど子育て支援施策の拡充に努めてきました。また、企業の投資ニーズに応えるべく新たな産業用地の確保にも着手し、若者が地元に着定できる環境づくりを進めています。

しかし、こうした市の施策だけでは真の地方創生を実現できるものではありません。全国「目を向ける」と、暮らしに必要な様々なサービスを地域で自ら提供する「小さな拠点づくり」が活発化していますし、本格化する超高齢社会に備えて「地域包括ケアシステム」を構築したり、「コミ



ユニティビジネスで地域課題を解決するため自治組織を法人化するケースなども増えてきました。

こうした状況を見ますと、今まで以上に市民一人ひとりが地域の状況に関心をもち、みんなで力を合わせることで、次世代に継承できる地域を形成することが重要であると考えます。市としまして、地域の活動がさらに充実するよう支援していく所存ですので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、柘植地域がこれからも伊賀市の先導的な役割を果たしていけることをご期待申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

伊賀市議会議員 森岡昭二

新年あけましておめでとうございます。

毎年まちづくり協議会の活動や各部会での様々な取り組みにおいては、誠に敬意と感謝にたえません。ありがとうございます。



近年、私たちの生活を取り巻く状況は、年々厳しさが増してきています。超少子高齢化社会の到来、それに伴う人口減少問題と社会保障費の増大、地域経済の低迷の中の消費税10%への増税、いつ起こるか分からない災害への不安等々いつ



の時代も同様であります。中でも、今一番問題になっているのが、人口減少の推移です。伊賀市においても、全国同様減少局面に入っています。

2010年(平成22年)に10万人を切って以降年々減少し、2040年には7万人、更に2060年には5万2千人まで減少すると推測されています。

そうなりますと、労働力や地域活動の担い手の不足、介護や医療などの経費の増大、働く世代の負担の増加などが懸念され、行政の財源不足による行政サービスの低下が避けられない状況に追い込まれます。今後は、こうした将来に歯止めをかけるため、国・地方が一丸となってこうした対策に取り組みなければならぬと考えています。

まちづくり協議会におかれましては、こうした状況をふまえて頂きまして、この柘植の地に「来たい・住みたい・住み続けたい」といったまちづくりの実現にむけ、今後様々な活動を通してご尽力頂けたら幸いかと思っております。

今年も柘植地域の皆様がお幸せで、健やかな年でありますことを心から祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

来たい・住みたい・住み続けたい まちづくりを!

10年後、あなたは何歳？柘植地域の将来は？



年末年始、まちづくりアンケートにご協力を！

- テーマ① 分権自治と人権同和
- テーマ② 健康福祉と生活環境
- テーマ③ 教育文化と産業交流

最初に現行の『まちづくり計画』をふまえた各部会の考えを基調提案として出してくださいました。休憩後は、4人組でざっくばらんな話し合いをしました。

知り合うことから始めよう！

まちづくり研修会
12月19日(土)午後、市民センターでまちづくり研修会を開催しました(参加者57名)。研修会内容は、先進地視察や講演なども検討いたしました。が、昨年度に引き続き、少人数グループによるサロンを実施しました。

今後、『まちづくり計画』改定に向けて、住民アンケートを実施します(各区単位で16歳以上の方を対象に実施)。そのアンケート結果を参考に、各部会や運営委員会で、将来に向けた計画を考えていきます。ぜひ計画策定に関心のある方は、まちづくり協議会の構成員(公募)になつて、各部会等の検討会に参加してください。もちろん各区を通して意見や案を出していただいても結構です。さまざま形で、地域の将来を話し合い、地域みんながまちづくりを進めていきましょう。



和気あいあいの交流タイム…
司会も記録も置かない話し合いですが、4人がそれぞれ自己紹介などをしたり、これからの柘植地域の取組みや今後の夢などを出し合いました。



年末年始特別警戒 地域防犯パトロールと街頭啓発

伊賀地区防犯協会伊賀支部

12月21日(月)、いがま市全域のパトロールを伊賀市内警察と協力して実施しました。(写真は街頭啓発の様子です。)

参加者の感想(一部)
○いきいきと意見交換ができるようになった。時間が短かった。
○各部会等の取組み要旨が理解できた。話の内容が広範囲で議論を進めるためには、別に発表会を行う必要があると思う。
○横断的総合的に何を重点にやるか、「骨太計画」を決めて、各部会が方針を考えるようにしたいと思う。
○部会そのものの見直しを含め今までの反省が大切。2025年問題を福祉分野だけでなく農業分野も計画に盛り込んでほしい。人口増加をめざすまちづくりを進めてほしい。



の24日25日
約60人の間で
が、越しの方
なり、あまの
を袋あまり
を袋あまり
を袋あまり
し円で提供

黒豆↓煮豆!
袋詰めして地産地消!
黒豆を袋詰めして地域のみなさんに提供しました。



黒豆↓豆腐!
加工して地産地消!
12月24日(木)、収穫した黒豆を使って「豆腐作り」をしました。松山武宏さん(小杉区)を講師に、女性部会員を中心にチャレンジしました。



詳しくは、各戸配布チラシを!

★健康づくり講演会
「あなたの質問にお答えします」
日時 1月16日(土) 午後1時半
★人權講演会
「ここに生まれてきてよかった」
日時 1月27日(水) 午後7時半
※会場はどちらも市民センターです。

私たちの足元を見直してみましょう...

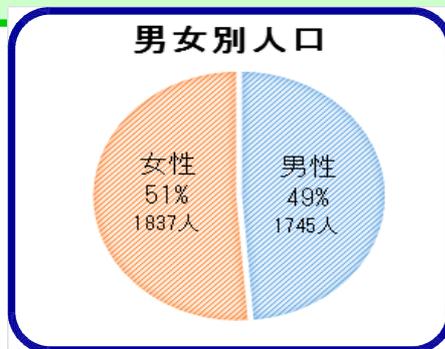
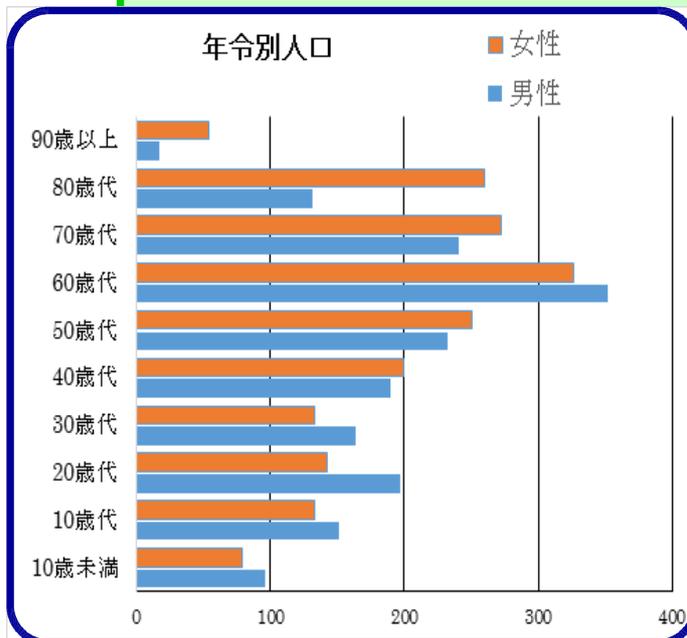
新年に当たり、柘植地域のことを考える材料にしてみてください!
★下表のデータは、伊賀市ホームページで見ることができます。
データは外国人や区入りされていない方等を含んだ総数です。

柘植地域の基礎データ H27年11月末現在 (参考)はH17年4月の人口

字名(区名)	世帯数	人口(参考)	男	女	高齢化率		
東部	岡鼻	71	184 (223)	97	87	42.1%	
	小林	183	399 (506)	196	203	44.7%	
	柘植青葉台	137	337 (326)	171	166	20.7%	
中部	上町	102	287 (366)	138	149	39.0%	
	下町	145	356 (422)	169	187	41.9%	
北部	倉部	106	293 (353)	144	149	37.8%	
	小杉	93	286 (279)	138	148	38.7%	
南部	山出	64	172 (210)	80	92	44.6%	
	前川	223	521 (650)	248	273	32.2%	
	上村	45	135 (168)	64	71	41.5%	
西部	野村	70	215 (262)	103	112	40.0%	
	中柘植	156	397 (431)	197	200	35.6%	
柘植地域合計		1,395	3,582(4,196)	1,745	1,837	37.3%	
		去年同期に対して→	19増	47減	26減	21減	1.2%増

※高齢化率は9月末現在
65歳以上人口 1,336人(9月末)

◆★**事務局だより(編集後記)**★
新年あけましておめでとございます。これからまちづくり情報をお届けいたします。◆
あやまちは「まちづくりだより」をよるしく願いの
あやまちは「3月26日(土)午前9時半」の
あやまちは「3月26日(土)午前9時半」の
あやまちは「3月26日(土)午前9時半」の



統計は、「現在」を知るとともに、「過去」を振り返り、「将来」を見定めるための重要なもの。このデータをもとに、ちょっとした話し合いが地域の各所で進むことを期待します。(事務局)